

2018年9月10日

各 位

会 社 名 東京センチュリー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浅田 俊一
(コード番号 8439 東証1部)
問 合 せ 先 広報 I R 部長 山下 圭輔
(TEL03-5209-6710)

グリーンボンド発行に関するお知らせ

当社は、国内市場において公募形式によるグリーンボンド（無担保普通社債）を発行することといたしましたので、お知らせいたします。

グリーンボンドとは、企業や地方公共団体等が、グリーンプロジェクト（環境改善効果がある事業であり、再生可能エネルギー事業、省エネ建築物の建設・改修、環境汚染の防止・管理など）に要する資金を調達するために発行する債券です。

本グリーンボンドにより調達された資金は、当社子会社である京セラTCLソーラー合同会社が推進している太陽光発電事業向けの設備リースに充当することを予定しております。本グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（R&I）による「R&Iグリーンボンドアセスメント」^{※1}において、グリーンボンド原則2018およびグリーンボンドガイドライン2017年版に適合する旨のセカンドオピニオンを取得し、最上位評価である「GA1」の予備評価を取得しています。R&Iは、2018年9月より、従来行っていたグリーンボンドへの5段階評価に加えて、セカンドオピニオンサービスを開始しており、本グリーンボンドはその第1号案件となります。また、本グリーンボンドに係る第三者評価の取得について、環境省の平成30年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業^{※2}の補助金交付対象となっております。

当社グループは、経営理念において「高い専門性と独自性を持つ金融・サービス企業として、事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献する」を掲げており、温室効果ガス削減およびエネルギー自給率向上といった社会的意義の高い取り組みを進めております。京セラTCLソーラーにおいては、2012年8月の設立以来、これまでに全国で67カ所、合計約258.1MW^{※3}の太陽光発電所を稼働、運営しています。今般のグリーンボンドの発行により資金調達手段の多様化を進めるとともに、地球環境保全と再生可能エネルギーへの取り組みを通じた持続可能な循環型経済社会の実現に努めてまいります。

本グリーンボンドの概要

発行年限	5年
発行予定額	100億円
発行予定時期	2018年10月
引受会社	みずほ証券株式会社（Structuring Agent） 野村証券株式会社

※1 「R&Iグリーンボンドアセスメント」とは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度を、グリーンボンド原則に掲げられた項目を含む評価基準に従って5段階の符号で評価し、債券の償還までモニタリングを行うものです。それに付随してグリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを提供することがあります。セカンドオピニオンとは、発行体等が定めるグリーンボンドのフレームワークが、グリーンボンド原則等に則しているかを評価するものです。

※2 グリーンボンドを発行しようとする企業や地方公共団体等に対して、外部レビューの付与、グリーンボンドフレームワーク整備のコンサルティング等により支援を行う登録発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する事業です。対象となるグリーンボンドの要件は、調達した資金の全てがグリーンプロジェクトに充当されるものであって、かつ発行時点において以下の全てを満たすものとなります。

(1) グリーンボンドの発行時点で以下のいずれかに該当すること

① 主に国内の低炭素化に資する事業（再エネ、省エネ等）

・ 調達資金額の半分以上又は事業件数の半分以上が国内の低炭素化事業であるもの

② 低炭素化効果及び地域活性化効果が高い事業

・ 低炭素化効果 国内のCO₂削減量1トン当たりの補助金額が一定以下であるもの

・ 地域活性化効果 地方公共団体が定める条例・計画等において地域活性化に資するものとされる事業、地方公共団体等からの出資が見込まれる事業等

(2) グリーンボンドフレームワークがグリーンボンドガイドラインに準拠することについて、発行までの間に外部レビュー機関により確認されること

(3) いわゆる「グリーンウォッシュ債券」ではないこと

※3 2018年8月31日時点、稼働済みとして

以 上